

特別支援学級 生活単元学習 学習指導案

1 単元名 「新聞をつくろう」

2 単元の目標

- 周囲の人と楽しく円滑にかかわることができる。
- 自分の伝えたいことを場面や相手に応じた適切な言葉で話すことができる。
- 言語活動を通して、相手とのやりとりを積極的に行うことができる。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	聞く・話す	コミュニケーション
・友達や周囲の人と言語を通して積極的にかかわろうとしている。	・自分の伝えたいことを相手に分かるように話している。 ・相手の話のおよその内容を聞き取っている。	・相手や状況に応じたコミュニケーションを円滑に行っている。

4 単元と指導の構想

(1) 単元と生徒

本単元では、「自分の伝えたいことをわかりやすく伝えること」「相手の話のおよその内容を理解すること」を学習し、「相手に興味をもち、周囲の人と楽しく積極的に言語を通してかかわる力」を身に付けさせたいと考えている。

当学級では、1年から3年生まで計7名が在籍しており、自閉傾向のある生徒や集中することの苦手な生徒など、様々な支援を必要とする生徒がいる。言葉でコミュニケーションをとることが苦手な生徒が多くいることで、伝えたいことがうまく伝わらないことによるトラブルもあり、特別支援学級という小集団にしながら、お互いに言語を通してかかわることに消極的である。そこで、かかわりながらできる様々な言語についての学習を取り入れ、自分の伝えたいことをわかりやすく伝える力と相手の話のおよその内容を理解する力を育てたいと考えた。この学習を通して、生徒に言語を通して友達とかかわることの楽しさを感じさせ、積極的に仲間とかかわる姿勢を育てたい。

本単元では、特別支援学校中学部学習指導要領（文科省）より以下の7点を取り入れて設定することとした。

各教科の[国語]内容から

- (1) 話のおよそを聞き取る。
- (2) 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見などを相手に分かるように話す。

[自立活動]の内容から

6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること。
- (2) 言語の受容と表出に関すること。
- (3) 言語の形成と活用に関すること。
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること。

(2) 指導の構想

研修テーマとして、「お互いにかかわり合いながら学習する授業の工夫」に取り組むこととした。多くの生徒は自分の意をくんでくれる大人とのコミュニケーションを好むが、伝える努力や聞く努力を必要とする学級内の生徒同士のかかわりを避

ける傾向がある。一人一人の伝え合う力を高めることが、将来的に同じ世代の仲間同士とかかわる楽しさを知ることにつながると考える。そのために、次のような手だてを講じていく。

- ① スピーチの場面で、自分の伝えたいことを分かりやすく話すこと、相手の伝えたいことのおよそを聞きとることを練習する。

休みの日の過ごし方や行事を体験して思ったこと、今日一日を振り返ってなど、様々なスピーチの場面を設け、自分の身の回りに起こったことや伝えたい気持ちなどを話すことを練習する。内容についてのメモをとりながら話を聞くことも練習する。スピーチの内容の浅い生徒には、友達や教師からの質問を受けることで内容の補充を意識させる。また、質問の内容を理解し、それに答える活動を通して、話す力、聞く力を育てると共に、やりとりすることの楽しさを感じることができるようにする。友達のスピーチの内容をクイズにして、みんなで答える学習などを取り入れる。

- ② お互いを知るための質問学習をする。

楽しい雰囲気の中で、かかわり合う学習ができるよう、学級新聞社の社員として、学級のメンバーに質問をし、聞いたことを新聞に書くという設定をする。それぞれの興味関心から友達への質問を考え、分かりやすくていねいな言葉で伝え、質問に対する答えを聞き、メモに残す。質問されたことについて理解が難しい友達に対しては、言葉を補うなど、自分の伝えたいことを伝えようとする粘り強い姿勢を育てたい。うまくかかわりがもてた時の達成感と楽しさをお互いが感じ、「かかわること」に積極的になれるよう、支援したい。次に、そこでの学びを生かして、当学校の先生方に質問をする活動につなげる。意欲につながるように、自分たちが書いた「先生新聞」を全校生徒に見てもらふことを伝える。前時までに学習したことを生かし、丁寧な話し方を心がけ、さらによりよい話し方聞き方の定着を図ることを支援したい。そして言語を通して積極的にかかわることの楽しさを感じさせたい。

5 単元の指導計画（全 17 時間）

時	主な活動内容（○）と活動のねらい（・）	評価			
		関	話	コ	評価規準
第1次 (3時間)	○自己紹介をしよう。 ・自分の好きなことや苦手なことなど、自分を振り返り、自分についての情報を挙げるができる。 ・自分についてカードにまとめることができる。 ・カードを示しながら、みんなの前で発表することができる。	○	○		・自分のことについて振り返り情報を多く挙げようとしている。(関) ・カードを示しながら自己紹介をしている。(話)

第2次 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の体験したこと，思ったことをスピーチする。 ○話の要点を押さえながら話を聞く。 ・自分の体験したことをスピーチすることができる。 ・友達や先生の話の内容を聞き取ることができる。 ・「いつ，どこで，誰が，何をした」などスピーチの内容クイズに答えることができる。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の伝えたいことをわかりやすくスピーチしている。(話・聞) ・話を聞き，おおよその内容を理解している。 ・スピーチやクイズを通して，言語で積極的にかかわろうとする。(関)
第3次 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> ○友達に質問をして聞きとった内容を新聞にまとめる。 ・クラスの友達や学校の先生に質問をして，その答えをもとに新聞を書き，みんなに読んでもらうという今後の活動の見通しをもつことができる。 ・友達への質問を考えることができる。 ・友達と質問をし合う際，不快感を与えないような話し方，聞き方ができる。 ・聞き取ったことを新聞にまとめることができる。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞にまとめるために友達に積極的にかかわろうとしている。(関) ・質問では，分かりやすく丁寧な言葉で質問している。(話) ・話をしっかりと聞いている。(聞) ・質問では，話をしっかりと聞き，相手と円滑にコミュニケーションをしている。(コ)
第4次 (5時間) 本時3／5時間	<ul style="list-style-type: none"> ○先生方に質問をして聞き取った内容を新聞にまとめる。 ・先生への質問を考えることができる。 ・先生に質問する際，丁寧な話し方ができる。 ・しっかりと質問の答えを聞きとることができる。 ・聞き取ったことを新聞にまとめることができる。 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞にまとめるために先生に積極的にかかわろうとしている。(関) ・質問では，分かりやすく丁寧な言葉で質問している。(話) ・話をしっかりと聞いている。(聞) ・質問では，話をしっかりと聞き，相手と円滑にコミュニケーションをしている。(コ)

6 本時の計画 (15 時間目 / 全 17 時間)

(1) 本時のねらい

質問すること，答えを聞くことのやりとりを円滑に行い，楽しみながら自分が考えた質問を丁寧な言葉で相手に伝えることができる。

(2) 本時の構想

① 話す・聞く・聞いたことを整理するという活動を繰り返し，見通しをもちやすい学習の流れをつくる。

第3次では，友達に質問をして，答えをもらうことを楽しむ経験をしている。また，聞いたことをメモに残し，それを基に新聞を書くという学習の流れを経験している。今までの学習の流れを変えず，質問をする対象を先生方にすることで，学習に対して見通しと期待感をもつことができるようにする。また，学級新聞社の社員として先生方を取材し，つくった新聞を全校のみんなに読んで

もらうという目的を示すことで活動への意欲をもたせる。

② 2グループに分けて、質問をする活動を行い、他の生徒の話し方や聞き方の良いところを学び合う場をつくる。

生徒は、前時までに質問をし合う学習の中で、お互いに質問の様子を振り返り、他の生徒から話し方や聞き方を学ぶことを経験している。本時は職員室へ出かけて、いつもと違う雰囲気で行う質問の学習になる。いつもと違う環境の中でも、落ち着いてスムーズに学習できるよう、2つのグループに分けて活動することにし、お互いをモデルにしたり、声をかけ合ったりできるようにする。また2つのグループにそれぞれMTとSTが付くことで見とりをしっかりと行う。

(3) 本時の展開

学習活動	教師の働き掛けと予想される生徒の反応	■評価・○留意点
<p>導入</p> <p>1 本時の活動に見通しをもち、自分の目標を確認する。(5分)</p>	<p><目標> 今日はこれまで学習したことをいかして、先生方に質問をします。</p> <p>T1 黒板に貼られた模造紙を見て、質問をする時の目標を確認しよう。 S1「ていねいな言葉で話す」です。 S2「相手の顔を見て聞こえる声で話す」です。 S3「相手の話をしっかりと聞く」です。 S4「自分からすすんで話をする」です。 T2 では、振り返りでAに○がたくさんつくようにがんばろう。2つのグループに分かれ、職員室に移動して、質問を始めましょう。</p>	<p>○黒板を見て、目標が確認できるように、黒板に目標を貼る。</p>
<p>展開</p> <p>2 2つのグループに分かれて職員室へ行き、先生方に質問をし、その答えを聞き取る。(35分)</p>	<p>学級新聞社の社員として、先生方に質問をしよう。 先生方が答えてくれたことをメモしよう。</p> <p>T3 職員室へ入る時、きちんとあいさつをして入りましょう。2つのグループに分かれて始めましょう。 S7 それぞれの先生方のところへ行って質問をする。質問の答えを聞き取る。写真係は写真を撮る。</p>	<p>○MT と ST がそれぞれのグループに付く。聞くことが苦手な生徒に対しては質問の答えを一緒に確認する。手本となる行動を取り上げ、グループ全体で共有できるように支援する。</p> <p>○事前をお願いしてある先生方一人一人に、質問者各一名を割り当てておく。</p> <p>■丁寧な言葉で、質問ができたか。質問の答えを聞き取ることができたか。すすんで質問をすることができたか。やりとりが円滑にできたか。について活動の観察により評価する。 (対象：抽出4名)</p>

<p>終末</p> <p>3 今日の質問の振り返りをする。(10分)</p>	<p>T4 今日の質問は、上手にできましたか。振り返りましょう。</p> <p>S7 プリントに自己評価をする。</p> <p>T5 先生方に質問をした感想を書きましょう。</p> <p>S8 感想を書く。</p> <p>T6 みんなの感想を発表してもらいましょう。</p> <p>S9 順に感想を発表する。</p> <p>T7 次時は、メモを基に新聞をつくりまします。全校のみんなが読むので、ていねいに楽しい新聞をつくりましょう。社員のみなさん、今日はごくろうさまでした。</p>	<p>■意欲的に質問をすることができたか。書かれた感想・発表内容から評価する。</p> <p>○生徒それぞれの上手にできたことを伝える。</p>
--	---	--

(4) 本時の評価

(評価方法) 本時で目指す姿を個々に設定して評価を行う。
本時は評価対象を4人とする。

(目指す姿)

4人共通の姿

- ・自分からすすんで相手に質問をすることができる。

生徒A

- ・自分の伝えたいことをわかりやすく丁寧な言葉で表現し、はっきりと、相手に伝えることができる。
- ・話の内容を聞き取り、質問をすることができる。

生徒B

- ・自分の伝えたいことを文で表現し、語尾まではっきりと話し、伝えることができる。
- ・話の内容をしっかりと聞き、理解したことをメモすることができる。

生徒C

- ・自分の伝えたいことをわかりやすく丁寧な言葉で表現し、話すことができる。
- ・話の内容を聞き取り、質問をすることができる。

生徒D

- ・自分の伝えたいことをわかりやすい言葉で表現し、はっきりと発音を意識して話すことができる。
- ・話の内容を聞き取り、質問をすることができる。